

主 文
本件上告を棄却する。
本件を上告審として受理しない。
上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。

一 上告について

民事事件について最高裁判所に上告をすることが許されるのは、民訴法三一・二条一項又は二項所定の場合に限られるところ、本件上告理由は、違憲及び理由の不備・食違いをいうが、その実質は事実誤認又は単なる法令違反を主張するものであって、明らかに右各項に規定する事由に該当しない。

二 上告受理申立てについて

本件申立ての理由によれば、本件は、民訴法三一・八条一項の事件に当たらない。よって、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

平成一二年九月八日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官 福田博

裁判官 河合伸一

裁判官 北川弘浩

裁判官 亀山継夫

裁判官 梶谷玄